

平成 30 年 2 月 28 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

みやざき！やっちよる“税”

宮崎法人会（宮崎）

<活動対象> 小学生～高校生

<活動の概要>

- ・「税知識の普及・納税意識の高揚」を基本理念に小中学校を主な対象に租税教室を開いてきたが、より社会人に近い世代に専門性の高い租税教育を行うことを目指し、高校生を対象としたディベート大会を実施。
- ・「消費税増税について」をテーマに練習会を行い、上位2チームによる代表戦を青年部会例会にて実施した。

<参考資料>

租税教育活動概要

<摘要>

特になし

<出典>

平成 25 年度租税教育活動プレゼンテーション（広島大会）より

公益社団法人 宮崎法人会青年部会 租税教育活動 概要

1. 名 称 「みやざき！やっちよる“税”」
2. 対象年齢 小学校～大学生・社会人
3. 参加人員 小学生 2校 228名 中学生 1校 123名 高校生 353名 大学生・社会人 600名
合計 1304名

4. 事業目的

宮崎法人会青年部会では、「税知識の普及・納税意識の高揚」の基本理念をもとに、年代層に沿った租税教育活動を実施し、未来を担う子どもたちに税の仕組みや納税することの大切さをしっかり伝えることを目的とします。また、税知識の普及を多世代へ発信するために、イベント・メディアと連携した活動を行うことで、税の啓蒙活動に拡がりと公益性を高めることを目的とします。

5. これまでの取り組み

小学校、中学校の総合的な学習の時間に、法人会青年部のメンバーが学校へ出向き、DVDなどの教材を使って租税教室を実施。授業の中でメンバーが講師となるため、事業実施には、学校側の協力が必要となります。こうした「学社連携」による「税」を教材とした社会教育は、地域全体の教育力の向上に寄与します。

小学校における租税教室活動

- ・ **すごろくゲームを使用した「租税すごろく」(小・中学校共通)**

郷土のことや、税金に関する問題を解いていながら、ゲーム感覚で学ぶ「租税すごろく」は、宮崎法人会青年部会が作成したオリジナル教材。

- ・ **1億円の重さ体験(本年度新規事業)**

【実績】 宮崎西池小学校 6年 138名 (実施日:H25年1月11日)

宮崎恒久小学校 6年 90名 (実施日:H24年12月14日)

中学校における租税教室活動

- ・ **すごろくゲームを使用した「租税すごろく」(小・中学校共通)**

- ・ **業種別質問会**

キャリア教育の一環として法人会青年部会メンバーが業種別に分かれ、生徒たちのグループと意見交換を実施。業種別に業界の話を織り交ぜながら、税の仕組みを話しました。

【実績】 宮崎北中学校 1,3年生 123名 (実施日:H25年1月24日)



小学校租税教室の様子



租税すごろくを楽しむ子どもたち

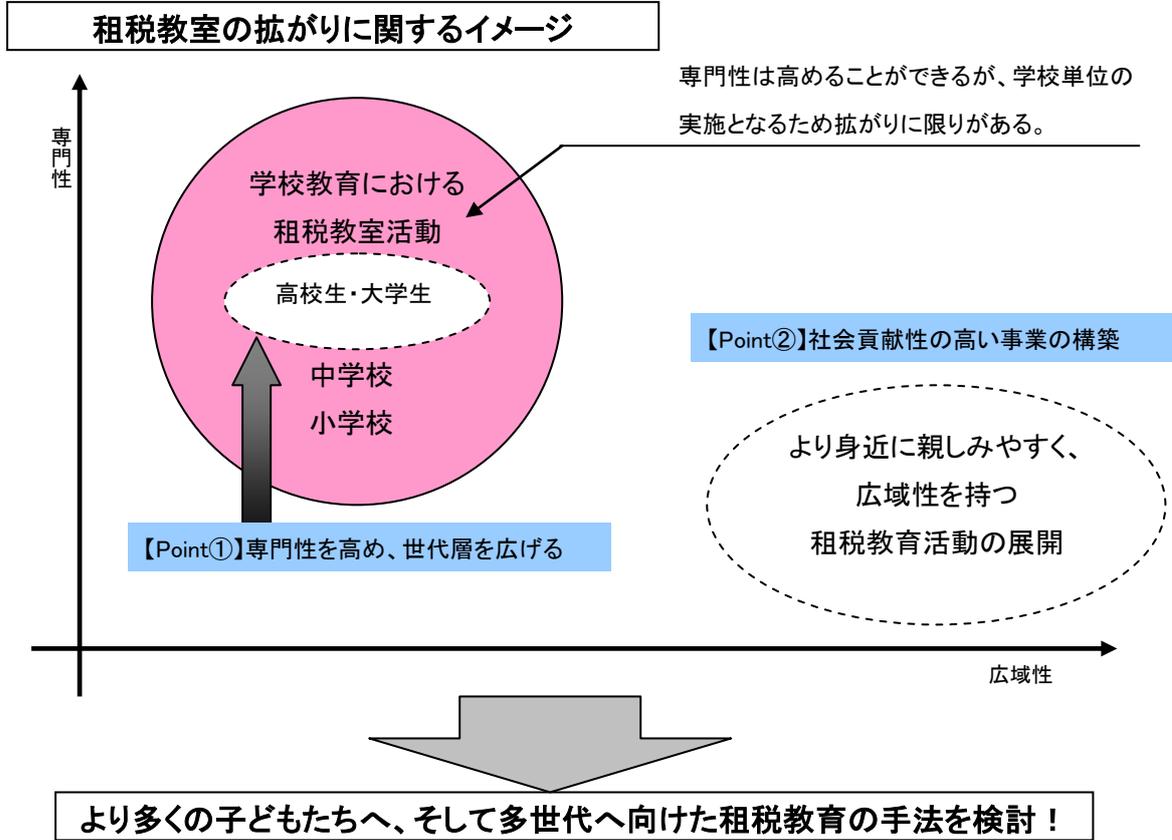


メンバーによるまとめの話

6. 活動に対する課題

事業実施における反省点

- ・ 租税教室は、学校単位での実施になるため、多くの子どもたちに伝える事が難しい。
- ・ より社会人に近い世代(高校生・大学生)へ向けた租税教育の方法はないだろうか。



7. 本年度の取り組み

高校における租税教室の実施

「ディベート」の手法を取り校内にてディベート大会を実施。高校2年生10クラス(353人)を対象に、3名1組、10組による練習会行い、上位2チームが代表戦を法人会青年部会例会(H25年1月17日開催)にて実施。テーマは「消費税増税について」



高校租税教室の様子



ディベート練習会の様子



ディベート練習会の様子